

百万円と苦虫女

拝啓、苦虫女の鈴子ちゃん。 次に暮らす街は京都でいかが？



©2008「百万円と苦虫女」製作委員会

■「百万円と苦虫女」 ■公開中 ■京都シネマ、他
■監督・脚本/タナダユキ
■出演/蒼井優 森山未來 ビエール瀧 笹野高史 佐々木すみ江 他
■http://nieamushi.com/

トランクひとつ分の身軽さで「百万円貯めて
転々としてるんです」という主人公・鈴子。ああ、
素敵。そんな生活に憧れるわあ。だって、荷物が
少ないだけでカッコいいから、理由もなく。

京都は全国でも屈指の一人暮らし人口の多さを
誇る学生街でもあり、アタクシも京都在住9年目
にして、二条城→府庁→銀閣寺とエリアを変えた。
主人公・鈴子のように短大・大学を卒業したもの
の定職に就かずにいる人も少なくないし、卒業後
の定着率も高い。「よそさん」には冷たいと言わ
れるが、中に身を置いてみると、「よそさん」を
蔑ろにはしない親切がそこかしこに。見知らぬ土
地を転々としながら、バイト先やその土地の人々
から優しくされ、ときには戸惑い、警戒しながら
も、他人との距離を手探っていく鈴子なら、苦虫
噛んだ顔せず暮らせるはず。イケズな女ばかり
ちゃうから、次は京都に住んでな、鈴子ちゃん。
(山田涼子)

Catch!

the entertainment

イベント・ライブ・演劇に映画、
CDリリースから書評に至るまで、
骨太entertainmentを丸飲み!

MOVIE

公開中

たみおのしあわせ



©2007『たみおのしあわせ』フィルムパートナーズ

結婚は人生の墓場か、スタートか？ シュールな岩松流珍回答がここに。

え？そんな結末あり??というラストシーンよ
り、わっ！けっこう体当たり!! 熟した男女のラ
ブシーンより、心をワン掴みされたのがオープ
ニング早々の川べりサイクリングシーン。鴨川沿
いのチャリ道を連想したのは、並んで走るふたりの
距離感だったり、遠慮がちに交わす言葉だっ
たりが、控えめかつ穏やかで微笑ましかったから。
緑と水って、そういうふうな心に染み入る力を秘
めているな、と改めて。

ところでこの作品、ドラマ「時効警察」ファン
にはうれしいキャスティング。ついつい、霧山×
三日月を連想してしまいがちだが、そこはそれ、
さすがの演技派。あの軽妙なテンポのふたりとは
全く違ったカップルが誕生している。男前×別嬪
が見合いで結婚を決めるってあたり、ほんまにい
〜?と言いたくなるが、そのツッコミを押さえ込
んでしまう説得力に溢れている。

(山田涼子)

MOVIE

8月上旬

■「たみおのしあわせ」 ■ 8月上旬～
■京都シネマ、他
■監督/岩松了
■出演/オダギリジョー 麻生久美子 原田芳雄 大竹しのぶ 小林薫 他
■http://tamiono.jp/

街場

肩の力を抜いて、自由に語ろう...、
京の街と付き合うというのを。

演算

保伊戸宵
(ほいとよ)

【第12回】

人気少ない、8月の京。
しつぽりと冷酒でも...
とは思っているのであるが、
出かけるのは？ 女子居酒屋？

夏・本番という感じですね。暑さ寒さもなんとやら、
ではあるが、8月といえばなんといつても盂蘭盆会、五
山の送り火、そして地藏盆というところだろうか。あつ
という間な気もするが、8月というやつが結構な長さ
を感じさせるのは、昼間の時間が長いからか... う〜ん、い
うてる間に9月がやってきて昼と夜の長さはトントン
になるのであるが。

京都の8月は僕は好きだ。こう言ったら語弊があるか
もしれないが、祇園祭でこつたがえす時は、祭りに没頭
しているから気がつかないでいるのだが... 喧噪の京都
が8月になると何とも凛とした静けさをとりもどすか
らだ。

2月・8月は商売があがったれだというのは世の常で
はあるが、そういつたときこそじっくりとスタツグなバ
ーや、小鉢に冷酒がたまらないしつぽりとした店で1人
で飲みたいと思う。この8月にはなるべくそういう時間
をとろうと考えている。そんな時に限って思わぬ人間と再
会したりするからまた面白い。

そして8月には行かないだろうな(たぶん9月になつ
たら行く！ いやきつと)、と思う店のジャンルの一つが
「女子居酒屋」だ。

8.2~
(Sat)

ただただループする日常に打つクサビ、 アナタの場合、それは何でしょうか？

瞬間瞬間の映像美（台詞もだが）に集中するあまり、大局が分からぬまま終わってしまう。押井守作品は「木を観せて、森を観せぬ」が、僕の持論だ。だから二度三度と観る。押井作品は難解だと言われる理由はこんなところなのでは？と思うのだが、これは観る側のせいであって、観せる側には確たるロジックがある。「生きること」を「我慢」と押井監督は舞台挨拶で語った。

平和を実感するために、企業がショーとして

の戦争を請け負い、永遠に生き続ける「キルドレ」たちが飛行機で戦う。同作の劇中で描かれる「無限のループ」は、僕たちの変わりばえしない毎日で（京都の街も多くの場合、それを延々と営んできた）、アナタにとってその我慢に抗うモチーフは何か？それを問うてくる映画なのだ。試写は最前列だったので、二度目の押井節・IG節は、大局を見誤らぬよう、後ろの方で観ようと思う。

（竹中 聡／本誌）



© 2008 森 博嗣「スカイ・クロラ」製作委員会

- 「スカイ・クロラ」
- 8.2 (Sat) ~
- MOVIX京都、他
- 監督／押井守 声の出演／菊池凜子 加瀬亮 谷原章介 栗山千明 他
- http://sky.crawlers.jp/

水の中のつぼみ

9月上旬

フレンチカラーに彩られた、 乙女から乙女へのラブ。

シンクロナイズドスイミングクラブの華・フロリアーナに恋心を抱くマリーは「何でもするから、練習を見せて欲しい」とフロリアーナに接近する。大人っぽい美少女フロリアーナと、やせぎすで幼さの残るマリー。フロリアーナのわがままにマリーが巻き込まれるような形で、二人の間に奇妙な関係が生まれる。

LAのレスピアンライフスタイルを描いた海外ドラマ「Lの世界」が話題のなか、少女が少女に恋するこの作品も流行のピアンもの？

と思いきや、そこはしっかりおフレンチ映画。これは、恋をしたい、大人になりたい、という自分の中で生まれたばかりの欲望に翻弄される少女たちの群像劇。そして、女の欲望に関する深い考察でもある。

水着が花のように浮かぶプールの青、背伸びして出かけるパーティ会場の赤い照明、スクリーンを染める色彩も、揺れる乙女心を妖しく彩っています。

（沢田眉香子）



© LES PRODUCTIONS BALTAHZAR 2007

- 「水の中のつぼみ」
- 監督／セリーヌ・シアマ 主演／ポーリーヌ・アキュアーナ 他
- 京都みなみ会館
- 9月上旬~
- 075・661・3993（京都みなみ会館）



ガールズバーに行くのとはちよつと違う。とはいえ甘く見ては決していけない。女子居酒屋は、やかましい、かしましいさえOKならば、飯旨・酒旨・会計よし・スマイルはブライストレス。

野郎居酒屋以上に注文の声の伸びがよく、かつカウンタール越しの会話といえは、軟式テニスのラリーのごとく、半テンポひねりがきいて返ってくるような気がするが、それはデイレイが効いた下直球ストレート。でもでもパレー部ノリでついつい「チューハイもう一杯！」となってしまう。だからかどうかは分からないが、この手の店がいいのは、女子客も結構多いが、出来る、いけるOL客がいないことと、客の女子も店員も店長（もちろんみんな女子である）も区別が付かないなんともいえない（ゆるい）ノリではあるが、決してカフエ的な、癒しや和みといったところにベクトルが向かっているわけではないところ（ま、基本飲み屋だからな）である。

「行かない店の事書いてどうすんねん」とツツコミが聞こえてきそうだが、女店ってどこかに何か狙いとか機能とかが存在するのだけれど、これまである種の体育会系女子は男の居酒屋的なゾーンにブレンドされてきたと思うし、彼女たちの行き場（というか働き場）は決して女店ではなかったということに注目すべしだ。だが、今確実に体育会系の女子居酒屋は、確固たるジャンルを確立しはじめていると感ずるし、流行ものでもなく、結構21世紀の夜酒飯屋の潮流になるような気がする。

なんかピンときていない、キミ・ボク・アナタ…この女子居酒屋は、お袋の味…的店ではないということだけはつきり言うておきます。

最後に、女店の最高峰って？ 勝手いいますが、先代女将（ごとうかオカンの）の居酒屋「伏見」かな！ 板場は男、カウンターはオカン。それで、いいんだよ。

保伊戸育（ほいと・よい）／コピーライター&エディター。福園祭の神輿の日に仕事を入れるのは今年が初めて？ まそんな事はないが、身体と仕事のバランスが…。饅頭食べて元気だな。というところで「割烹」やましたで饅つくし。店を出るとき新三浦の若女将と鉢合わせ…。そのときふと思ったのが、若女将な料亭っていわば女店だよ。